

STRATEGY

商品情報

2026年 5月号

株式会社ういち (OUGグループ)

販促営業広報課 発行

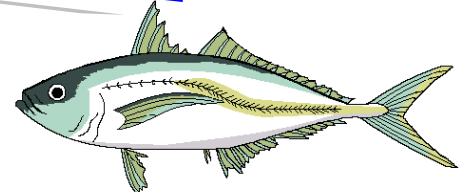
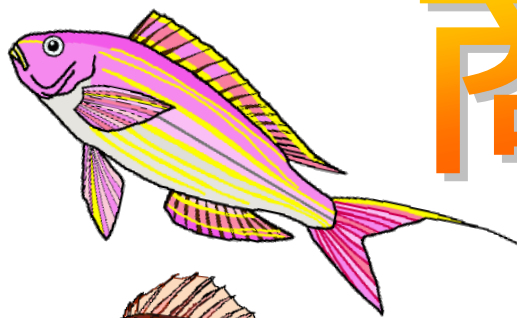
URL: <https://www.uoichi.co.jp/>

〒553-8555

大阪市福島区野田 1 丁目 1-86 大阪市中央卸売市場内

TEL 06-6469-2051 FAX 06-6469-2169

ホームページ会員募集中!



2026年5月カレンダー

1日	金	大型 旋 網 休 漁 期 間	大潮	メーデー (満月○)
2日	土		大潮	八十八夜 世界マグロデー カルシウムの日
3日	日		大潮	憲法記念日 博多どんたく (~7日 さかなの日)
4日	月		中潮	みどりの日 巻寿司・シラスの日
5日	火		中潮	こどもの日 立夏 端午の節句 わかめ・数の子の日
6日	水		中潮	振替休日 ※市場臨時開場日 コロッケの日
7日	木		小潮	コナモンの日 ココナッツの日
8日	金		小潮	世界赤十字デー ゴーヤの日
9日	土		小潮	アイスクリームの日
10日	日		長潮	母の日
11日	月		若潮	長良川鵜飼開き (イカの日)
12日	火		中潮	海上保安の日 看護の日
13日	水		中潮	市場休場日 カクテルの日
14日	木		中潮	オレンジデー
15日	金		大潮	沖縄本土復帰記念日 葵祭
16日	土		大潮	(新月●)
17日	日		大潮	高血圧の日
18日	月		大潮	
19日	火		中潮	(食育の日)
20日	水		中潮	市場休場日
21日	木		中潮	小満
22日	金		小潮	卵料理の日
23日	土		小潮	
24日	日		小潮	伊達巻の日 菌活の日
25日	月		長潮	シーチキンの日
26日	火		若潮	
27日	水		中潮	市場休場日
28日	木	大型 旋 網 休 漁	中潮	
29日	金		中潮	
30日	土		大潮	ごみゼロの日
31日	日		大潮	世界禁煙デー(満月☆)

5月 皐月(さつき)

~空には“こいのぼり”、海の中は色とりどりの魚でいっぱい！！~



桜の花も若葉に変わり、新緑が目に見え鮮やかな5月になりました。吹き抜ける風も爽やかで香り高い風に心も晴れやかになりますね。

5月は大型連休とともにスタートします。5月5日の端午の節句は、力強さを示す鯉のぼりのように、子どもの「健やかな成長」や「強さ」を願う日です。柏餅や菖蒲湯といった、厄除けや邪気払いが代表的ですが、古来より縁起の良いものとされ真鯛やお寿司などで売り場を彩られると思います。



日と同じくして、5月5日は「立夏(りっか)」になります。暦の上では夏の始まりを示す重要な節気です。天気も安定するので、衣替えだけでなく、家の中も徐々に夏仕様にしていくのも良いでしょう。また、心地の良い風を感じつつ、少し身体を動かすこと始めてみるのもいいですね！

立夏を境に海も春から夏に変化していきます。市場の入荷も春から続くカツオ、マダイ、ホタルイカ、メバル、サワラなどに加え、梅雨時から夏が旬のハモ、マアジ、マルアジ、イサキ、養殖銀鮭など美味しい魚達がどっと増えます。



そして5月10日は母の日です。母親への感謝の気持ちを表す特別な日です。花やプレゼントなどの贈り物のほかにも、家事の手伝いを進んで、料理やお菓子作りを一緒にするといった形でもいいかもしれませんね。

爽やかな季節の反面、新生活のストレスや疲労が重なり自律神経に不調が出てくる時期にもなります。効果的な魚介として、マグロやカツオには精神安定に関わるセロトニンの生成に効果が有り、さけ・サバ・イワシは精神の安定と免疫力の向上に効果が有るとされていて、生魚だけでなく缶詰も有効と言われています。また貝類は、肝機能向上と気分の改善に効果が有ると言われているので、しっかりと食べて元気に過ごしてほしいと思います。

()は毎月ある記念日

鮮魚取扱量指数(本場取扱2025年4月～2025年6月) うおいち大阪本場の資料を基に作成しています。

5月の取扱量の多い順にならんでいます。

鮮魚	4月	5月	6月
養殖マダイ	100	105	90
カツオ	100	157	91
マアジ	100	86	108
マサバ	100	90	80
マイワシ	100	82	63
サワラ	100	76	38
ハマチ	100	300	193
天然ブリ	100	45	51
マルアジ	100	91	73
アトランサーモン	100	119	121
スルメイカ	100	158	206
活マダイ	100	89	77
カンパチ	100	106	108
イサギ	100	503	683
アカガレイ	100	52	8
タラスキンレス	100	99	87
養殖銀鮭	100	420	479
ヒラス	100	194	87
養殖ブリ	100	71	58
ゴマサバ	100	108	141
コアジ	100	122	83

鮮魚	4月	5月	6月
ヨコワ	100	86	64
養殖ブリフィーレ	100	79	67
養殖アトランフィーレ	100	123	114
活ハモ	100	445	750
養殖ヒラメ	100	112	118
サゴシ	100	345	239
エテガレイ	100	72	64
レンコダイ	100	95	46
シマアジ	100	126	114
キンメダイ	100	91	129
メマダイ	100	81	64
養殖ハマチ	100	89	84
タチウオ	100	97	110
天然ヒラメ	100	157	292
メハモ	100	458	896
スズキ	100	97	52
養殖アワビ	100	104	86
ヤリイカ	100	53	73
メバル	100	39	44
紋甲イカ	100	301	225
養殖トラウト	100	80	65

特殊物	4月	5月	6月
ハマグリ	100	160	116
あさり	100	94	83
ボイルワカメ	100	101	85
養殖アユ	100	178	168
シジミ	100	101	89
サザエ	100	117	87
バイガイ	100	152	167
ツブ貝	100	116	104
ホタテ貝	100	154	124
ホタテ柱	100	93	106

太物	4月	5月	6月
養殖クロマグロ	100	112	100
クロマグロ	100	113	209
冷凍キハダ	100	97	96
キハダ	100	110	112
冷凍メバチ	100	94	87
冷凍養殖クロマグロ	100	101	102
冷凍インドマグロ	100	75	87
冷凍トンボマグロ	100	141	71
インドマグロ	100	191	399



目次

1. カレンダーとお魚暦
2. 鮮魚指数
3. メーカー・行政様の販促コーナー
4. 「鮮魚」「塩干」「冷凍」の商品情報

※うおいち大阪本場のデータを基にしています

登録方法

うおいちHPにアクセス
↓
会員様ページにて
無料メールマガジンに登録
↓
商品情報ページ



年間**2万アクセス**以上

詳細

- ◆ 月刊発行 月初めに更新
- ◆ 完全無料・会員型データサービス
- ◆ 会員様数 約2,000人
- ◆ 閲覧者様

外食・中食・小売業・メーカー・商社・
学校・仲卸・漁連・生産者様など

現場の生の声を取材！

創業78年 西日本最大の大阪市中央卸売市場

株式会社うおいち 地球にやさしく、身体にやさしく、心にやさしく

情報のご紹介・ご活用方法

- ✓ 一月先の情報を得れる
- ✓ 相場・入荷 相場・入荷から代替品や商品の原価調整の提案が出来ます。
例)サンマ 今期は漁場が遠く、ピークもずれ込み販売に苦戦。
タラ 今年は水揚げが好調で価格も取扱いしやすい。 Etc.
- ✓ 旬・食べ方・販促方法 例) 季節に合わせたレシピ提案・関連商品が分かります。
3月8日はサバの日 ~サバのアラビアータ風煮~
- ✓ 川下から川上までの状況
- ✓ 現状から予測 例) 現場という視点で、今後の漁獲量や売れ行き予測をしています。
- ✓ 商品の展開・陳列方法
- ✓ 会議・商談の資料として活用



〈問い合わせ〉
担当者 うおいち 販促営業広報課
TEL: 06-6469-2051
Mail: kouhou@uoichi.co.jp



販促コーナー 参加者募集



あなたも情報発信してみませんか！

メリット

- ✓ さまざまな層の閲覧者(取引先)を獲得できる
- ✓ 購買行動を促しやすい
- ✓ 新しいマーケティングの場を取得できる

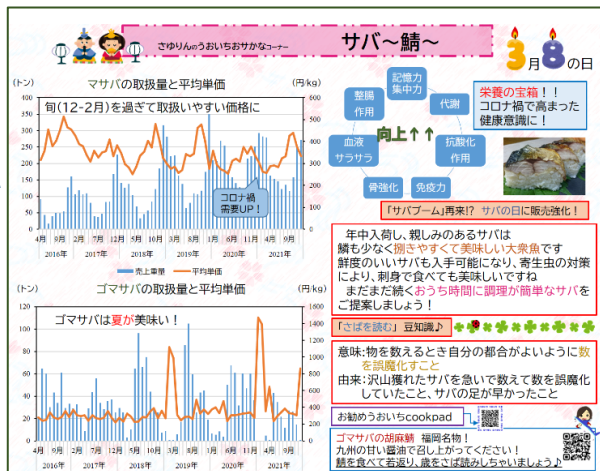
多くの企業・行政様とコラボ中！

記事の参考例

- ✓ 今季お勧めしたい商品・新商品紹介
例)商品・規格・末端売価など商品の紹介のみでもOK！
- ✓ 商品と絡めたレシピ提案
- ✓ 今季の自社の方向性
- ✓ 考え方・展開事業・取り組み
例)SDGs・環境・認証ラベルなど
- ✓ ご当地・国産国消

資料イメージ

旬の魚介類紹介



グラフを用いる

豆知識

関連HP

詳細

- 費用 無料
- 規格 A4横
- 資料数 1-3枚まで
- 回数 一月から毎月(1.2月合併号)
- 必要情報 企業・団体名
- 必要内容 水産物関連・掲載月関連

情報共有の場を 広めましょう!

掲載までの流れ

- ↓ 担当者までご連絡下さい
- ↓ 掲載内容の要相談
- ↓ 締め切り 月末25日
- ↓ 翌月に掲載





この時期だけのさっぱりとした味わい

初がつおをたのしむ

kewpie

展開期間

5月

展開売場

エンド

鮮肉

日記

青果

鮮魚

定番

企画主旨

春の旬食材の代表格である「初がつお」は赤身が多く脂が少なくさっぱりとした味わいが魅力。

魚料理に慣れない方でも、気軽にチャレンジできるかつおメニューを提案。かんたんに作れる主菜として食卓のマンネリ解消に貢献します。

旬の味覚を美味しく、ヘルシーにお楽しみください。

御社メリット

- 鮮魚部門を中心とした、旬食材の店頭企画で、売場の活性化を図ります。
- かんたんに調理できるメニューの訴求で、鮮魚の喫食率アップに貢献できます。

お客様メリット

- かつおを使ったメニューのレパートリーが増やせます。
- たたきを活用することでかんたんに調理できます。

提案背景

春の縁起もの

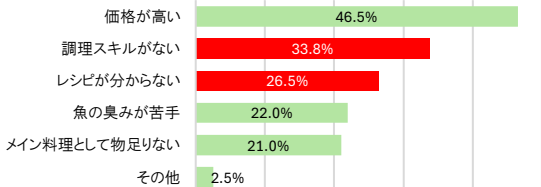
初かつお

脂が少なくさっぱりとした味わいが特徴。身が引き締まって弾力があり、カツオ特有の臭みが少ないため、苦手な方でも食べやすいとされています。



旬の魚を食卓に積極的に取り入れられない理由

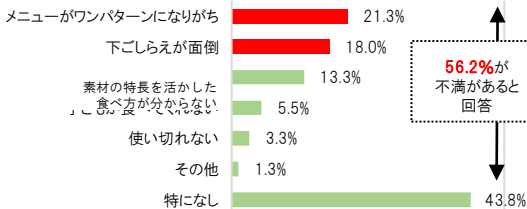
価格に次いで、調理スキルや活用レシピが課題となっています。



出典: 自社調査(2024年9月) n=400 20~60代主婦 複数回答

「かつお」メニューについて不満に思うこと

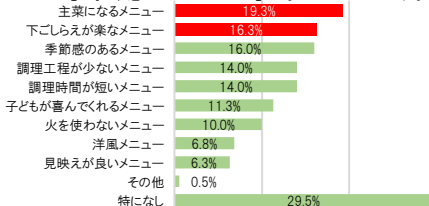
「マンネリ感」「下ごしらえの面倒さ」に対する不満が目立ちます。



出典: 自社調査(2024年9月) n=400 20~60代主婦 複数回答

レパートリーを増やしたいと思う「かつお」のメニュー

「主菜になるメニュー」「季節感のあるメニュー」が求められています。



出典: 自社調査(2024年9月) n=400 20~60代主婦 複数回答

提案メニュー



かつおとたっぷり香味野菜のごまドレ和え



キューピー 深煎りごまドレッシング

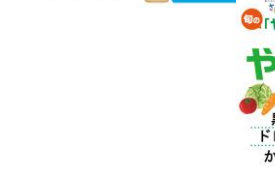


キューピー テイステイドレッシング 黒酢玉ねぎ



黒酢たまねぎドレッシングで！かつおのたたき

POPイメージ





おいしい×サステナ=いい未来

さかなの日

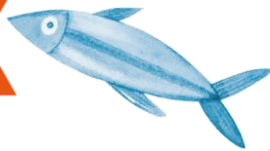
kewpie 

旬の「やさしい」と「さかな」を
つけた

やさかな



レシピ



かつおと

たっぷり香味野菜の

ごまドレ和え





おいしい×サステナ=いい未来

さかなの日

kewpie 

旬の「やさしい」と「さかな」を
つけた

やさかな

レシピ 

黒酢たまねぎ
ドレッシングで！
かつおのたたき



母の日
パスタ



蛤と帆立白だしとは

- ①蛤の上品なうま味、帆立の濃厚なコクを合わせたWスープ仕立て
- ②国産丸大豆淡口醤油使用で貝のうま味を引き立てます
- ②中華、洋風とメニューの広がる白だし



作り方

1. あさりは水の中で殻をこすり合わせてよく洗う。玉ねぎはみじん切りにし、マッシュルームは薄切りにする。
2. 鍋に湯を沸かして、スパゲッティをゆでる(塩は加えない)。
3. フライパンにオリーブ油、玉ねぎ、マッシュルームを入れて弱火で軽く炒める。全体に油が回ったら、パスタのゆで汁(100ml)、1のあさりを加え、ふたをして中火で蒸し煮にする。
4. あさりの口が開いたら蛤と帆立白だしを入れ、沸騰させて全体の液量が6割ほどになるまで煮詰める。
5. 4にゆでたスパゲッティの水けをきって入れ、全体によくからめる。器に盛り、貝割れ菜を散らす。

材料(2人分)

スパゲッティ	200g
あさり	100g
玉ねぎ	40g
マッシュルーム	2個
貝割れ菜	適宜
蛤と帆立白だし	60ml
オリーブ油	大さじ4(60ml)

アオリイカたっぷりのお好み焼き



ふんわりお好み焼き名人とは

小麦粉に混ぜるだけで、
かつお・昆布・うすくちだし醤油の
だし味がきいた関西風お好み焼が
できあがります。

山いも入りでふんわりと仕上がります。

1袋で3枚分、1箱で9枚分入りです。



材料(1枚分)

小麦粉	100g
卵	2個
水	150ml
キャベツ	300m (5mm程度の粗みじん切 り)
アオリイカ	80g
本品	1袋
サラダ油	適量

作り方

1. アオリイカを一口サイズにさばく。
2. ボウルに本品と小麦を入れてからませ、
卵・水を加えよく混ぜ合わせます。
3. キャベツとお好みの具を①に混ぜ、
油をひいたフライパン(中火)またはホットプレート180度に
流し入れ、アオリイカをのせて両面を焼きます。
(片面3~4分程度)

かつおと山芋の和風タルタル

marukome

使用商品・・・液みそ料亭の味430g

山芋の食感がいいアクセントに。
さっと作れるのでおつまみにも最適です。



材料（2人分）

具材	分量	調味料	分量
・かつお刺身	200g	・液みそ料亭の味	大さじ2
・山芋	50g	・みょうが	1個
		・のり	1枚
		・青しそ	適量

【作り方】

- ①かつお刺身は、粗めの角切りにする。
- ②山芋は、ビニール袋に入れて、めん棒でたたく。
- ③かつお、山芋を「液みそ 料亭の味」であえて器に盛りつけ、刻んだみょうが、青しそを添える。
- ④のりに、③を乗せてくるんでいただく。



🕒 調理時間	10分	🔥 カロリー	159kcal
🥄 塩分	2.1g	📦 糖質	6.8g
🌿 食物繊維	1.1g		

※カロリー、塩分、食物繊維、糖質は1人分です。

切身

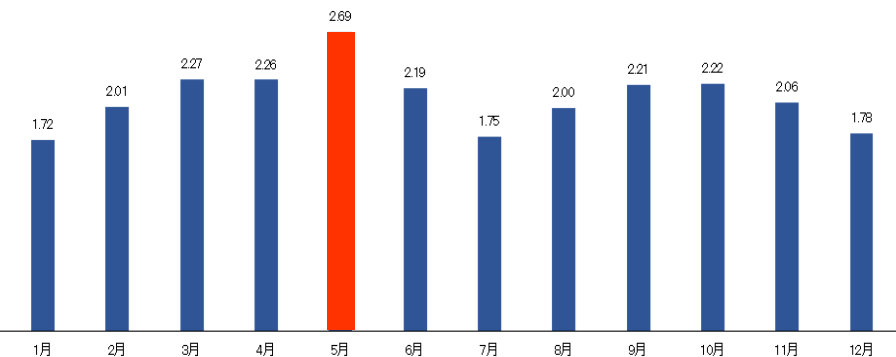
5月はムニエル推し 鮭売場からメニューを提案



ムニエル食卓出現頻度 (TI値)

食機会数 (TI値)

(株)インタージ「キッチンダイアリー」2024年より



ムニエル



まぶして焼くだけで ふっくらムニエル

爽やかなハーブの香りと
ほのかなバター風味が
鮭の美味しさを引き立つ



ムニエルつくろ70g

包装形態：12ヶ×6

標準小売価格：200円（本体）、216円（税込）

ちゃんちゃん焼

売上No.1の ちゃんちゃん焼 のたれ



数種類の味噌を
ブレンドし、
コクと旨味の
ある味わい

ちゃんちゃん焼のたれ150g

包装形態：12ヶ×6

標準小売価格：225円（本体）
243円（税込）

バジルパン粉焼

バジルが香る タルタルソース付



バジルパン粉焼S T

包装形態：12袋×6

標準小売価格：185円（本体）
200円（税込）

旬を迎える時季に アジを使った魚惣菜

まだやってないの？夏の魚惣菜の定番！



- 売れるポイント
- 1.野菜たっぷり
 - 2.つゆだく
 - 3.常温販売

アジの南蛮漬
本体価格298円、税込価格321円

生大アジフライ（タルタルソース付き）



本体価格298円、税込価格321円

売れるポイント

- 1.大きな魚
- 2.タルタル付き

生大アジ大葉フライ（タルタルソース付き）



本体価格298円、税込価格321円

アジと大葉を一緒に
フライにしています
大葉が良いアクセントに



スチコンでも作れる “揚げない南蛮漬”



1 スチコン鉄板にクッキングシートをしき、サラダ油を適量塗り広げる

2 粉付けしたアジを余分な粉をはたいて並べ、ハケ等でサラダ油を適量上塗りする

3 スチコン、オープンモード200°Cで10分焼成。※加熱温度は調整してください。

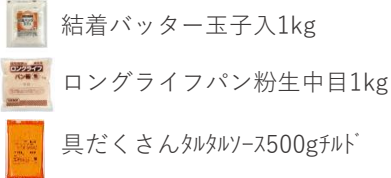
4 バットに野菜・南蛮酢を入れ、③の焼成した魚を入れ、漬ければ完成。

使用商品

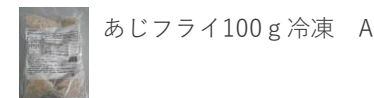
南蛮漬



フライ



生アジの入荷が無い時に
冷凍アジフライも
取り扱っています



あじフライ100g 冷凍 A

☆☆鮮魚☆☆

★カツオ★

現在のところ、鹿児島・宮崎・高知方面からの入荷が中心となっています。和歌山の近海物(ケンケン)の入荷は少量に留まります。魚群は鹿児島沖から高知・静岡・千葉沖へと北上します。5月に入りますと、鹿児島・高知を中心に千葉方面他、各地から入荷が見込まれます。和歌山はこれからの水揚げに期待したいです。昨年少なかった高知の水揚げが増えており、入荷量は昨年より多いと思われ、鹿児島 2.0～1.5kg、宮崎 1.5 kg中心、高知 2.5～1.5kg と各サイズ揃っています。相場は情勢上経費が嵩み、高値安定で推移しております。高知・和歌山方面は漁場が近く日戻りで帰ってきているので鮮度は良好です。この時期のカツオは初カツオと呼ばれ、目に鮮やかな身色とさっぱりした味が楽しめます。

[5月予想相場]カツオ

産地	規格	予想相場(円/kg)
和歌山(ケンケン)	2.5～2.0kg/尾	2,500～2,000
千葉	5.0～3.0kg/尾	2,000～1,200
鹿児島・宮崎	4.0～3.0kg/尾	1,500～1,200
	2.4～2.0kg/尾	700～600
	1.8～1.5kg/尾	700～500
高知	2.5～2.0kg/尾	1,500～1,000
	2.0～1.5kg/尾	800～600

★天然ハマチ・ツバス★

現在のところ、昨年同様に全国的に少なめで推移しています。5月に入りますと、福岡・長崎の九州方面に加え、石川・鳥取方面の日本海側を中心に、愛媛・千葉・宮城他、各地から巻網・定置網・刺網等の入荷が見込まれます。入荷量は昨年並み、相場は経費高騰により強含みで推移する見込みです。東南アジアへの輸出需要と諸経費の高騰から底値は安定しています。

[5月予想相場]天然ハマチ・ツバス

種類	規格	予想相場(円/kg)
ハマチ	4.0～2.0kg/尾	800～500
ツバス	1.2 kg～800g/尾	600～400

★メバル★

現在のところ石川(輪島)中心の秋田他から入荷が始まっています。サイズは石川が600～150g/尾まで各サイズ、秋田が小型の250g/尾中心で推移しています。5月に入りますと秋田・新潟・石川(輪島)方面に加え、福井の刺網物の入荷も見込まれます。青森の水揚げは関東圏の引合いが強いです。山陰(島根・鳥取)の釣物の漁は年々水揚げが少なく地場消費中心で動くと思われ、例年なら水温の上昇と共に、日本海方面からの刺網物の小型サイズや釣物が増えてくる時期ですが、水揚げは少なく相場は高留まりになる見込みです。入荷量は例年並と思われ、相場も先月並で推移すると見込みですが、関東の引き合いは強く底値はしっかりするでしょう。

【クロメバル】現在のところ、宮城・福島・青森が入荷の中心になります。釣物、定置網物、トロール物となり、水揚げは例年並で1,600～1,000円/kgで推移しています。5月に入りますとも産地は変わらず、青森、秋田方面主体の入荷となり、入荷量は例年並で相場は600～200g/尾サイズ2,500～1,500円/kgで推移すると思われ、

[5月予想相場]メバル

規格	予想相場(円/ケース)	
	釣物	網物(刺網)
3.0kg 6～8入	7,500～4,000	5,500～4,000
3.0kg 9～13入	7,500～4,000	6,000～4,000
3.0kg 14～18入	6,500～4,000	6,000～4,000
3.0kg 20～22入	5,500～4,000	5,000～4,000
3.0kg 23～26入	4,500～2,500	4,000～2,000

★養殖銀鮭フィーレ★

宮城県の今年の初水揚げは、高水温や寒波の影響による稚魚投入の遅れから成育状況を考慮して女川・石巻は 15 日に、志津川は 20 日～23 日ごろに始まりました。成育状況と水揚量次第ではありますが、サイズは 5 kg 10～13 枚中心の例年並みで、浜値も強含みの予想となっています。5 月に入りますと宮城県の石巻・女川・志津川・南三陸・気仙沼各地から入荷が見込まれ GW 後に本格化します。5 月は入荷が増えると思われ、輸入鮭鱒の取り巻く情勢や円安を加味して国産の生食可能な生鮮鮭として需要が高い状況が続く見込みです。相場は 5.0kg10～13 枚中心で 2,000～1,800 円/kg と昨年並みの強含みで推移する見込みです。洋上生簀の投入遅れがあるものの、夏場の水温上昇に対する不安感から 6 月中に水揚げが終わる可能性も危惧されています。

★サヨリ★

現在のところ、兵庫（淡路）の入荷が中心となっています。兵庫方面は 80～50g/尾サイズと各サイズ出揃っています。愛知も水揚げはありますが、関西の入荷は限定的でしょう。韓国からは不定期な入荷に留まります。4 月に入り三重・愛知方面からの入荷も見込まれます。4 月終わりにかけて抱卵し産卵期を迎え、水揚げは増え、入荷量がピークになると共に 5 月頭が最需要期でもあります。それ以降はメニューから外れてシーズンオフに向かうと共にサイズも小型になり相場は落ち着きます。安定した入荷量を見込んでおり、相場と共に昨年並を見込んでいます。韓国産の入荷は小型で不安定となり、相場も強含みで推移すると思われれます。

[5 月予想相場]サヨリ

産地	規格	予想相場(円/kg)
兵庫(淡路)	80～60g/尾	4,500～1,500
	50～30g/尾	1,500～ 800
愛知	100～80g/尾	5,000～3,500
韓国	100～80g/尾	1,600～1,200(500g/ケース)

★メイタガレイ★

福島中心、兵庫（淡路）の底曳網物が入荷となります。現在のところ痩せ気味の個体が多いですが安定した入荷が続いています。活物は兵庫（淡路）中心に愛知方面からの入荷も見込まれます。こちらは 400～200g/尾サイズと比較的、大型サイズ中心となっています。入荷量は例年並で推移すると思われる、相場も昨年並で推移する見込みです。小型は唐揚げや煮付けで、大型の鮮度の良い物はお造りにお勧めです。

[5 月予想相場]メイタガレイ

産地	種類	規格	予想相場(円/kg)
宮城・福島他	〆物	200gUP/尾	2,000～1,500
		150g 前後/尾	1,600～1,200
		100g 前後/尾	1,300～ 800
		100g 以下/尾	800～ 500
兵庫他	活物	200gUP/尾	5,000～1,500
		150g 前後/尾	2,500～1,000

★サワラ★

現在のところ、愛媛の刺網物・三重・和歌山の定置物 4.0～3.0kg/尾サイズが入荷の中心になります。サゴシの入荷はほとんどありません。5 月に入りますと瀬戸内(香川・兵庫)方面の定置網物が始まり、入荷の中心になります。サイズは 4.0～3.0kg/尾と卵持ちの大きめ中心となります。昨年のスタート時は少なめで推移しており、入荷量は不安定な見通しです。九州や山陰、北陸方面はあまり期待できません。韓国からの入荷も限られるでしょう。相場は昨年並で推移すると思われれます。

[5 月予想相場]サワラ

産地	規格	予想相場(円/kg)
国内各地	2.0kgUP/尾	2,000～1,000
	2.0～1.5kg/尾	2,000～1,000
	1.0kg 以下	1,200～ 800

★タチウオ★

現在のところ、九州(鹿児島・大分)方面の釣物と宮城方面の網物主体の入荷ですが、水揚げは少なくサイズも小型(5.0kg20 入サイズ)中心で地元消費が強く、相場も強含みで推移しています。5 月に入りますと九州方面(鹿児島・熊本・大分・長崎)で釣物を主体に水揚げが増えてくると思われませんが、不安定な状況から回復は難しい見込みです。サイズも徐々に大きくなっていくと思われませんが、主力の長崎(五島・小値賀)の水揚げがほぼ無い為、総じて昨年より少なめと思われ、入荷量も昨年より少なめで推移すると思われれます。相場も昨年並の強含みを見込んでいます。

[5 月予想相場] タチウオ

規格	予想相場(円/kg)	
	釣物	網物
1.0kgUP/尾	7,000~1,000	4,000 中心
800g 前後/尾	4,000~ 800	3,500 中心
500g 前後/尾	3,500~ 600	3,000 中心
300~200g/尾	2,500~ 600	2,000 中心

★甘ダイ★

【赤アマダイ】

長崎・高知・山口・島根・福井・石川他、各地から釣物主体の入荷が見込まれます。秋田・青森はこれからの期待したいところです。四国方面の水揚げは限定的です。4 月から 6 月にかけて日本海側は水揚げがピークになりますので、入荷量は徐々に増えて相場は落ち着いてくると思われれます。入荷量は例年並を見込んでおり、相場も諸経費の高騰もあって強含みで推移すると思われれます。

【白アマダイ】

長崎(長崎港・佐世保)・愛媛・高知・徳島和歌山方面からの入荷が中心となります。現在のところ、まずまずの水揚げが続いており、5 月に入りましたも引き続き、この傾向は続くと思われれます。天候に左右されますが、入荷量は昨年並を見込んでおり、相場も諸経費の高騰もあり昨年並で推移すると思われれます。

[5 月予想相場] アマダイ

種類	産地	漁法	規格	予想相場(円/kg)
赤アマダイ	青森・秋田・新潟・石川・福井・高知他	釣物 巻網	1kgUP/尾	12,000~3,000
			800g/尾中心	10,000~3,500
			500~300g/尾	8,500~3,000
	島根・山口	一本釣	1.0kgUP/尾	10,000~4,500
			800g/尾中心	8,000~3,500
長崎(紅王)	釣物	4.0kg12~15 入	12,000~8,000 円/ケース	
福岡	延縄	3.5~3.0kg 3 入	8,000~4,000	
白アマダイ	和歌山・徳島・高知・長崎	釣物	1.0kgUP/尾	12,000~4,000

★天然マダイ★

【活物】

兵庫(淡路)中心の愛媛・香川・広島・徳島・和歌山他の瀬戸内中心の入荷が見込まれます。中心サイズは 1.0kg/尾サイズ前後で、現在のところ順調な水揚げが続いています。5 月もこの傾向は続くと思われ、入荷量は昨年より多めで、相場は先月並の保合いで推移すると思われれます。量販店向けは 1.0 kg/尾サイズ前後、業務筋向けは 2.5~1.5 kg/尾サイズが中心となります。端午の節句や GW シーズンの行楽弁当向けに需要が高まる時期でもあります。

【〆物】 【網物】

現在のところ、長崎・山口・島根(浜田)方面からの入荷が中心となっています。漁法は巻網・底曳網でサイズは各サイズ揃っています。九州(長崎・福岡)の巻網も始まり、産卵期に向けて水揚げは徐々に増加してくると思われれます。例年通りに水揚げがあれば相場も安定してくると思われれますが、年々時期がずれてきているので予想が難しくなっています。その為、相場の変動が激しくなる可能性があります。又、ロットがまとまる為に加工向けの買付けや売り出し向けの集荷も入っていきます。需要期でもある事から、引き

合いが強く入荷量は昨年並の少なめを見込んでおり、相場も昨年並の強含みで底堅いもので推移すると思われま。

【**物**】 【**定置・釣物**】

瀬戸内(愛媛・広島・岡山・兵庫・徳島)方面を中心に入荷が見込まれます。現在のところ各地共に定置網の水揚げが始まっており、1.0kg~300g/尾サイズを中心に安定入荷しています。この傾向は続くと思われ、5月に入りますと産卵期に向かう見込みです。水揚げが安定している事から加工向けの買い付けも見られます。入荷量は例年並、相場は昨年より弱含みで推移すると思われま。5月は「子どもの日」「母の日」などで、祝い鯛として小サイズ(500~300g/尾サイズ)の需要が高まります。

[5月予想相場]天然マダイ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
活物	瀬戸内各地	3.0~2.5kg/尾	4,500~ 800
	愛媛・香川・広島	2.5~1.5kg/尾	4,500~ 800
	徳島・兵庫他	1.0kg 前後/尾	4,500~ 800
物	熊本・長崎 山口・鳥取他	1.5~1.0kg/尾	1,200~ 800
		0.8~0.6kg/尾	1,000~ 600
		0.6~0.5kg/尾	800~ 500
	瀬戸内各地 愛媛・広島・岡山 淡路(兵庫)他	1.5~1.0kg/尾	1,000~ 500
		0.8~0.6kg/尾	1,000~ 500
		0.6~0.5kg/尾	1,000~ 500

★**養殖マダイ**★

愛媛主体の、熊本・高知・和歌山方面からの入荷となります。各サイズ揃っており、全体の在池量は潤沢に推移しているものの、物価高による消費の伸び悩みは依然続いており、引き続き、厳しい状況が続いています。桜ダイのシーズンを迎え、GWの行楽シーズン、端午の節句等の需要期に入っていきますが、天然の水揚げが増える時期でもあり、入荷量は昨年並、と思われ、諸経費全般の高騰もあり、相場は昨年並の底堅い相場で推移すると思われま。

[5月予想相場]養殖マダイ

規格	予想相場(円/kg)
1.8kgJP/尾	1,400~1,150
1.7~1.5kg/尾	1,400~1,150
1.4~1.2kg/尾	1,400~1,150
1.1~0.8kg/尾	1,400~1,150

★**養殖アトランティックサーモン**★

カナダ中心の入荷となります。成育は順調で(9.0~8.0kg/尾)、在池量も安定しています。オーストラリア(タスマニア)は少量ながら入荷は続いており、小型サイズ(5.0~4.0kg/尾)の入荷となっており相場は値頃感があります。チリ産のフィーレも順調な入荷になっています。ノルウェーの入荷は国際情勢もあり入荷は減少傾向にありますが、フィーレの入荷は続いております。イースターも終わり需要は落ち着いてきますが、国内の静岡他のサーモンの入荷も始まっており、今後も動向に注意が必要です。新物は例年通り、6~7月にかけて順調な入荷と思われ、落ち着いた相場に期待したいところです。夏ごろにカナダは端境期を迎えるでしょう。

[5月予想相場]養殖アトランティックサーモン

産地	種類	規格	予想相場(円/kg)
ノルウェー	SD	6.0~5.0kg/尾	2,100~1,900
		5.0~4.0kg/尾	1,900~1,800
	フィーレ	6.0kg 前後 4枚中心	3,300~3,000
オーストラリア(タスマニア)	SD	5.0~4.0 kg/尾	2,500~2,100
チリ	フィーレ	13.5kg 9枚入	3,000~2,800
カナダ	SD	6.0~5.0 kg/尾	1,900~1,800
		5.0~4.0 kg/尾	1,850~1,750

★養殖ヒラメ★

国産は長崎中心、大分からの入荷となります。夏場の水温上昇に向けて出荷量は増えてきています。5月は鹿児島・大分の入荷となるでしょう。韓国からも順調な入荷が見込まれます。共に成育状況は良好で、荷動きが悪い事もあり、全体的に大きめとなってきています。中心サイズも国産が1.5~0.5kg/尾、韓国産が1.5~1.0kg/尾と各サイズ揃っています。在池量は共に順調で推移している事から入荷量も昨年並より多めで推移すると思われ、相場も昨年並のやや弱含みを見込んでいます。価格も落ち着いてきていますので涼感溢れる白身の刺身商材としてお勧めです。

[5月予想相場]養殖ヒラメ(国産・韓国産)

規格	予想相場(円/kg)
1.0 kg/尾中心	2,700~1,000
800g/尾中心	2,400~1,000
600g/尾中心	2,100~ 800
500g/尾中心	2,100~ 800

★養殖スズキ★

愛媛からの入荷が中心となります。中心サイズは成育遅れから1.5kg/尾サイズ中心と小型中心で推移すると思われ、在池量は少なく、入荷量は集荷努力から例年並を見込んでおりますが、相場は2,000~1,700円/kgと強含みを見込んでいます。需要期の7~8月になりますと在池量も少なくなることから、相場は更に強含みで推移する事が予想されます。

★養殖カンパチ★

鹿児島・宮崎中心、愛媛・高知他の入荷となり、4.0~3.5kg/尾サイズ中心になります。在池量は例年通りで、入荷は昨年並を見込んでいるものの、相場は先月並の2,400~2,000円/kgと昨年より強含みで推移するものと思われ、稚魚導入は世界情勢もあり先行不透明です。

★養殖ハマチ★

現在のところ、鹿児島・宮崎中心の入荷となります。3.5~3.0kg/尾サイズ中心で在池量は多いですが、入荷量は夏場に向けて少なくなり、相場も2,000~1,800円/kg中心と高値保合いで推移すると思われ、モジャコ漁は現在のところ採捕数は少なく、今後に期待されます。採捕量によっては今後の生産尾数に影響が出てくるものと思われ、

★養殖ブリ★

現在のところ、大分方面から3年魚5.0~4.5kg/尾サイズが、在地消化で入荷の中心となります。高知からも新物3.0kg/尾サイズ前後が入荷しています。これから高知の新物が一部見え始めます。5月に入りましても産地は変わりませんが5.0~3.0kg/尾サイズと小型が中心となります。入荷量は昨年と同水準、相場も引き続き強含みで推移すると思われ、

[5月予想相場]養殖ブリ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
ラウンド	大分・高知・ 鹿児島	5.0~3.0kg/尾	1,650~1,500
フィーレ		7.0~ 6.0kg 4枚入	2,500 中心
		3.0kg 前後 4枚入	2,750~2,300

★アワビ★

【天然アワビ】

長崎・日本海側(山口・島根・鳥取)・兵庫・徳島・三陸(宮城・岩手)の各地からの入荷が見込まれます。水揚量はジリジリ減少している事から、入荷量は昨年より少なめを見込んでおり、相場は昨年並の先月より強含みで推移すると思われ、

【養殖エゾアワビ】

韓国産の養殖エゾアワビは、成育が順調で在池量が潤沢な事から、引き続き順調な入荷を見込んでおり、相場は先月より更に弱含みで推移すると思わ

れます。養殖である事からサイズ選別がきちりしており、販売しやすい事から安定した需要がある商材です。扱いやすい価格帯に入ってきておりますので、行楽シーズンに向けて拡販の方、よろしくお願い致します。

[5月予想相場] アワビ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
アワビ	徳島・山口 長崎他	300gUP/個	40,000~20,000
		300~200g/個	20,000~10,000
		200~100g/個	10,000~4,000
養殖 エゾアワビ	韓国	150g 中心	5,000~4,500
		100gUP/個	4,000~3,000
		100g 以下/個	3,500~2,000

★トリガイ★

現在のところ、三重より生鮮の入荷が始まっております。5月に入りますと三重・愛知主体、兵庫(淡路)は少量入荷を見込んでいます。水揚げが少なく、活物 50g/個のかなりの小粒中心の 1,500~1,200 円/kg の強含みで推移すると思われれます。開き製品は韓国からの冷凍品の入荷が見込まれます。入荷量は昨年並もしくはやや少なめと思われ、相場は例年並で推移すると思われれます。各地共、餌のプランクトンが不足している為か、今年も成育が遅れております。

[5月予想相場]開きトリガイ

規格	予想相場(円/枚)	
	三重(生鮮)	韓国(冷凍)
9寸9尾(50枚/ケース)	入荷なし	1,800 中心
8寸9尾(60枚/ケース)	入荷なし	1,500 中心
7寸9尾(60枚/ケース)	1,400~1,050	1,200 中心
6寸9尾(90枚/ケース)	600 中心	入荷なし

★アサリ★

3~5月にはアサリの旬で実入りも良く入荷も多い時期です。現在のところ、前月同様愛知(渥美半島)の前浜物は皆無の状況です。三河湾のポンプ漁も期待薄です。静岡・福岡産に関してはサイズが小さく、現在も入荷を見合わせています。三重産の入荷始まるのは5月のGW明け以降でしょう。北海道産と中国産は安定した入荷が見込まれます。(中国産は6~9月は韓国産に代替) 入荷量は、北海道・中国産は昨年並を見込んでいますが総量では昨年より少なめと思われれます。相場は三重産が昨年より強含み、北海道産・中国産は昨年並を見込んでいます。3~5月はアサリの旬で、一年の中でも最も身入りが良い時期です。貝汁や酒蒸しだけでなくバター炒め、アクアパッツアやアヒージョなど色々なメニュー提案して販売いたします。

[5月予想相場] アサリ

産地	規格	予想相場(円/kg)
愛知	特大	3,000 中心
	大	入荷未定
	中	入荷未定
三重	中	1,800 GW明け
北海道	特大	1,500 中心
中国	大	1,000 中心
	中	800 中心

★大アサリ(ウチムラサキ)★

愛知主体の入荷となります。現在のところ水揚げが少ない事から地元消費中心となっており、相場は強含みで推移しています。これから需要期に入っていく、5.0kg15~25粒とサイズは揃い、入荷量も昨年並の低調な見通しの為、相場は2,900~2,700 円/kg と強含みで推移すると思われれます。5.0kg60粒 100~80g/粒の小型サイズの入荷はありません。代替品として千葉産のホンビノス貝をお勧めしています。水揚げは順調で、150~100g サイズ/粒 1,200 円/kg 中心、100~50g サイズ/粒 1,100 円/kg 中心と若干の弱含みで推移すると思われれます。

★アユ★

【養殖アユ】

現在のところ和歌山・岐阜と入荷は始まっています。GW頃から盆前までが本格的なシーズンになります。入荷量は昨年並を見込んでいますが、相場は生産コストの上昇から昨年並の強含みで推移すると思われます。小アユは和歌山・岐阜から入荷が見込まれますが、昨年より少なめで推移すると思われます。

【天然アユ】

天然アユは5月終盤より入荷となる見込みです。6月に入りますと多くの河川で解禁され、順調な釣果を期待したいところです。入荷は岐阜が中心となる見込みです。小鮎は琵琶湖(滋賀)からの入荷となります。昨年の状況が悪かったので、今年の動向にも注視しております。水揚げに期待したいところです。養殖アユの稚魚需要もあり、入荷量は未知数です。

[5月予想相場]アユ

種類	産地	規格	予想相場(円/ケース)
養殖アユ	各地	1.0kg 8~13入	2,500~2,000
		200~150g/3尾	400~ 300
養殖小アユ	滋賀	300g 7~14入	2,000~1,800
	岐阜	100g 10入	650~ 450
天然アユ	各地	1.0kg 8~13入	10,000~5,000(円/kg)

★ホタテ★

現在のところ、貝毒はなく、北海道(野付)中心の入荷となります。オホーツク、サロマ湖(紋別)でも水揚げはありますが為替の影響もあり、輸出向けの生産が活発な事と昨年の斃死を引きずり浜高で推移しています。

【生玉(柱)】

現在のところ相場はかなり強含みで推移しています。引き続き輸出向けや冷凍商材の引き合いも強く、入荷量は少なく、相場は各サイズ共、昨年以上の強含みで推移すると思われます。

【殻付きホタテ】

北海道からの入荷となります。輸出の引き合いも強く、入荷量は少ない状況です。相場は各サイズ共、昨年より強含みで推移すると思われます。

【ホタテの稚貝】

例年ならば入荷は最盛期ですが、今年は斃死の影響により種苗不足から相場高が顕著で、北海道・青森共、入荷は昨年より大幅に減少する見込みです。

[5月予想相場]ホタテ 生玉・殻付

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
生玉 (貝柱)	北海道	12-15 玉/500g	12,000 中心
		16-18 玉/500g	10,000 中心
		18-20 玉/500g	9,000 中心
		21-25 玉/450g	8,000 中心
		26-30 玉/450g	7000 中心
殻付	野付(天然)	3-4 枚/kg	1,500~1,000
	噴火湾(養殖)	5-7 枚/kg	1,300~1,000

★シジミ★

三重中心入荷となり、島根(宍道湖)方面も入荷が見込まれます。水揚げ、入荷共に例年並で期待でき、相場も例年並で推移すると思われます。

[5月予想相場]シジミ

産地	サイズ	予想相場(円/kg)
島根(宍道湖)	2L	1,200~1,000
	L	1,000~ 800
	S	800 中心
三重	大	800 中心
	中	700 中心
	小	700 中心

★サザエ★

現在のところ、国内物は資源状況が芳しくなく、水揚げがかなり少ない為、相場は依然、強含みで推移しています。韓国物は今年の水揚げは多いようで、入荷の中心になります。5月に入りましてもこの傾向は続くと思われ、入荷量は安定している韓国物は、相場も弱含みで推移すると思われ。韓国物は6月～9月が禁漁となりますので、今後の動向に注意が必要です。石川・新潟方面は6月以降、入荷が始まります。

[5月予想相場]サザエ

産地	規格	予想相場(円/kg)
三重	130～70g/個	2,000 中心
大分	200～150g/個	1,800 中心
	130～70g/個	1,800 中心
長崎・山口	130～70g/個	1,800 中心
鳥取	130～70g/個	1,000 中心
韓国	180～70g/個	1,400 中心

★サバ★

【マサバ】

現在のところ、九州(長崎・佐賀)方面の旋網物が入荷の中心で700～600g/尾サイズの水揚げが安定しています。また日本海方面(境港他)の旋網物も600～400g/尾サイズ中心で入荷が多いです。春サバとなっており、産卵中の個体が水揚げのメインとなっています。日本海の定置物(石川・富山 500～400g/尾サイズ)もこれからですが、地場消費メインで入荷は少ないです。5月から6月にかけて入荷の中心になっていく見込みです。7月に入りますと三陸(宮城他)が始まると思われ。入荷量は例年並、相場は高留まりで推移するでしょう。

【ゴマサバ】

鹿児島中心、三重方面の900～700g/尾の大型サイズの水揚げが主体となっています。現在は抱卵状態ですが5月に入りますと産卵します。引き続き産地は変わらず、入荷量・相場共に昨年並を見込んでいます。

[5月予想相場]サバ

種類	産地	規格	予想相場(円/ケース)
マサバ	九州・日本海・三重 巻網・定置	4.5kg 8入	3,300～1,500
		4.7kg 10入	2,500～1,500
ゴマサバ	鹿児島・三重 巻網	5.0kg 8入	2,800～1,500
		5.0kg 10入	2,000～1,500

★アジ★

【平アジ】

現在のところ、入荷の主力は九州(長崎・佐賀・福岡)方面の巻網物500～350g/尾サイズ(卵持ち)となっております。小サイズ(300～200g/尾)は冷凍相場場で底堅いです。三重の巻網物(500～400g/尾)は入荷が少なく見込み薄となります。定置物は太平洋(高知・和歌山・三重)中心の入荷が見込まれます。5月に入りましても同様の傾向が続くと思われ。各地共、産卵を終えた個体になってきます。入荷量は例年並み、相場は経費の高騰により強含みで推移すると思われ。

【丸アジ】

現在のところ、(宮崎・長崎・佐賀)方面の大中小型巻網物と高知の定置網物主体の入荷となっており、300～250g/尾サイズ(卵持ち)となっています。和歌山方面の中着(巻網)は小サイズ(200～180g/尾)の水揚げがあります。5月に入りましてもこの傾向は続くと思われ、産卵を終え順調な入荷が見込まれます。入荷量は昨年並みと思われ、諸経費の高騰により相場は高留まりの様相でしょう。

【小アジ】

現在のところ、三重方面の巻網物が入荷が中心となっています。5月に入りましても、三重・和歌山・高知主体の入荷になると思われ。入荷量、相場共に昨年並を見込んでいます。豆アジ(30～20g/尾)は現在のところ、まだ見えていません。

[5月予想相場]アジ

種類	産地	漁法	規格	予想相場(円/kg)
平アジ	九州(長崎・佐賀・福岡)	巻網	400~300g/尾	1,300~ 500
			300~250g/尾	900~ 400
	高知・三重	定置網	400~300g/尾	2,000~ 600
丸アジ	九州(宮崎・長崎・佐賀・福岡)	巻網	400~300g/尾	800~ 400
			300~200g/尾	600~ 300
	紀州(和歌山)	巾着網	300~200g/尾	500~ 300
200~180g/尾			400~ 250	
小アジ	三重・和歌山他		2.0kg 40/60g/尾	700~550 円/ケース

★赤カレイ★

現在のところ、産卵が終わり魚体は痩せています。各地水揚げは不安定で、2,000~500 ケース/日で推移しています。5月に入りますと需要も落ち着きシーズンオフに向かっていきます。(2回目の卵が薄っすら入ってきます)水揚げは昨年並を見込んでおり、入荷量は昨年並、相場は他魚種の水揚げが少ない事から昨年よりやや強含みで推移すると思われます。6月より北海道方面の入荷が始まり中心となります。

[5月予想相場]赤ガレイ

産地	規格	予想相場(円/ケース)
日本海各地	8.0~7.0kg 9~12 入	6,000~4,000
	8.0~7.0kg 15 入	6,500~4,000
	8.0~7.0kg 20 入	5,500~4,000
	6.0~4.5kg 15 入	4,000~3,000
福井	6.0~4.5kg 9~12 入	4,000~2,500

★水カレイ・ササガレイ★

【水ガレイ】

福島・青森方面からの入荷が中心となります。現在も各地共、水揚げは少なめで推移しています。特に山陰(島根、鳥取)方面は地元消費、加工需要が強く

なっています。需要の中心は 3.0kg6~9 入サイズで、5月に入りましてこの傾向は続くと思われ、入荷量は昨年並に少なめ、大型サイズの相場は昨年並の強含みで推移すると思われます。

【ササガレイ】

山口・福島・宮城主体の入荷となります。現在のところ、同様に各地共少なめで推移しており、島根・鳥取方面は地元消費、加工需要が強くなっています。入荷量・相場共に、昨年より少なめを見込んでいます。

[5月予想相場]水カレイ・ササガレイ

種類	産地	規格	予想相場(円/ケース)
水ガレイ	青森・宮城・福島	3.0kg 5~ 6 入	2,700~2,100
		3.0kg 7~ 9 入	2,400~1,800
		3.0kg 10~13 入	2,400~1,800
ササガレイ	宮城・福島・島根	2.0kg 6~13 入	3,500~2,500

★イサギ★

現在のところ、釣物は九州(熊本・長崎)方面から、網物(旋網・刺網)は九州(福岡・長崎)・愛媛からの入荷となりますが共に少なめで、相場は網物 500gUP/尾サイズ 1,600~1,500 円/kg、300g/尾サイズ中心 1,300~1,200 円/kgで推移しています。5月に入りますと、釣物は長崎・五島(小値賀・宇久)方面を中心に、巻網・刺網物は長崎(五島・佐世保・松浦)、福岡を中心に山口・島根、太平洋側では徳島や高知などからの入荷が見込まれます。4月後半より水揚げが増えてきて5月~6月に最盛期に向かうイメージです。入荷量は例年並、相場は例年並かやや高値で推移すると思われます。

[5月予想相場]イサギ

種類	産地	規格	予想相場(円/kg)
釣物	長崎他	500~400g/尾	3,000~ 800
		350~250g/尾	2,500~ 800
網物	長崎・福岡	500~250g/尾	1,800~ 800

★トビウオ(ハマトビウオ)★

現在のところ、昨年同様、鹿児島(屋久島)周辺の水揚げはほぼ皆無で、地場消費中心で入荷は無い状況です。早春の早い時期に獲れるのは主に大型のハマトビウオで、5~6月が盛漁期となります。四国(高知・徳島)中心の和歌山・三重の水揚げとなり、5月後半にかけて三陸(福島・宮城)と漁場も北上していきます。入荷量は例年並に少なく、相場も昨年より強含みで推移すると思われます。

[5月予想相場] トビウオ

種類	産地	規格	予想相場(円/箱)
トビウオ	各地	2.0kg/10尾	1,500~1,000

★イワシ★

現在のところ、大中羽は鳥取(境港)・富山の入荷が中心で、4.0kg100gUP/尾サイズ 2,000円/ケース中心で推移しています。中小羽は富山中心の水揚げとなっており、60g/尾サイズ前後、3.0kg800円/ケースで推移しています。漁獲量は徐々に減少し、相場も上がっていき、太平洋側に移っていきます。5月に入りますと、大中羽は九州(鹿児島・長崎)方面中心、中小羽は太平洋(千葉)方面を中心に順調な入荷が見込まれます。平子の漁も始まり高知を中心に入荷を見込んでいますが、近年は不安定な入荷に留まります。大中羽、中小羽に関しては、入荷量は安定しておりますが、経費の高騰が顕著で相場は高留まりが継続する見込みです。

[5月予想相場]イワシ

種類	規格	予想相場(円/ケース)
大中羽	4.0kg入(100~80g/尾)	2,500~2,000
中小羽	3.0kg入(約50~30g/尾)	1,000~800

★ケンイカ★

現在のところ、引き続き、釣物・定置物共にほとんど水揚げの無い状態が続いています。5月に入りますと、長崎(壱岐・対馬)、山口(特牛・湊)方面から少量ですが入荷を見込んでいます。昨年同様、水揚げは遅れ気味で推移しそうで、今後に期待したいところです。冷凍の在庫も薄く、入荷量は少なめと思われ、相場も強含みで推移すると思われます。旬の夏に向けて好転するのを期待しています。

[5月予想相場]ケンイカ

規格	予想相場(円/ケース)
2立	25,000~15,000
2半	20,000~13,000
3立	15,000~10,000

★スルメイカ★

現在のところ、釣物は山口方面の水揚げ主体となり、長崎(壱岐・対馬)も少量見られます。昨年見られた25入、30入の小型サイズの水揚げが今年も少なめで関東の引き合いが強い状態が続いています。定置物は長崎(佐世保・五島)が昨年同様見えておらず、富山方面もほぼ入荷がない状態です。5月に入りますと、定置網物は終わり、釣物主体になり、北陸(福井・石川)方面からの入荷に期待したいところです。鳥取(境港)・兵庫(但馬)からの入荷も見込まれます。昨年同様水揚げはやや遅れるかもしれませんが、今後の水揚げに期待したいところです。冷凍在庫も各地解消に向かい、引き合いが強くなり入荷量は昨年同様少なめで、相場は昨年より強含みで推移すると思われます。20~25入は関東の引き合いが強く、関西は30入中心の入荷になるでしょう。

[5月予想相場]スルメイカ

種類	規格	予想相場(円/ケース)
釣物	4.5~4.0kg 25入	8,000~5,500
	4.0kg 30入	6,000~5,000

★マグロ★

【生鮮物】

○脂物

生鮮の脂物の入荷は国産養殖本マグロ中心となり、鹿児島・大分・長崎・高知中心の三重・和歌山方面他からの入荷となります。中心サイズは60～50kg/尾サイズで、在池量は少なく無理な出荷はできない状況が続いています。入荷量は少なく、相場は強含みで推移すると思われます。天然本マグロは、三陸(宮城)方面の巻網・定置網物の入荷が見込まれます。入荷量は例年並、相場は若干の弱含みを見込んでいます。5月の入荷は日本海(山口・島根・鳥取)方面の定置網物に切り替わっていきます。鳥取(境港)の入荷は5月中旬以降になる見込みです。南半球(オーストラリア・ニュージーランド)のインドマグロの入荷が始まりましたが、水揚げはまともらず品質もこれからといったところです。5月に入りますと水揚げは増えてくる見込みですが、入荷量・相場共に例年並で推移すると思われます。

○赤身

生鮮のキハダ、メバチの国内物は沖縄・宮崎・高知・静岡・鹿児島 of 延縄物中心の入荷となります。水揚げは少なく、入荷量も少ないでしょう。例年夏場に向けて品質は落ちますが、現状でも今一つで、相場も良品が高い状況が続いています。輸入物の入荷はロイン製品入荷が中心となり、インドネシア方面中心になるでしょう。入荷量・相場共に先月並を見込んでいます。

【冷凍物】

○脂物

冷凍の脂物は静岡水揚げのインドマグロが主体となります。新物の入荷時期ですが、国際情勢もあり期待はできません。生鮮相場の影響で、入荷量は減少しており、出荷を見合わせる状況にあります。地中海の畜養本マグロに関しても、国内在庫が少ない状況です。こちらも入荷量は昨年より少なく、相場は高値で推移すると思われます。

○赤身

冷凍のキハダ、メバチ共に静岡水揚げですが、国際情勢によりほとんど入荷はありません。各漁場(太平洋・インド洋・大西洋)から水揚げがありますが、各地共、良品が少ない状態です。この傾向は5月も続くと思われ、入荷量は昨年よりかなり少なく、相場は情勢次第ですが強含みで推移すると思われます。

☆☆塩 干☆☆

★ボイルホタルイカ★

4月初旬までは、富山においてはイワシの回遊が多く、山陰沖での水揚げも増えず、ともに前評判ほどの水揚げには至らず、平年並みの水揚げ量となっております。5月以降の水揚げに期待します。

[5月予想相場] ボイルホタルイカ

産地	規格(約300g)	予想相場(円/3ツ折)
富山	3ツ折	1,600~800
山陰沖・福井	3ツ折	1,200~600

★しらす釜揚げ★

3月に入ってから和歌山からの入荷が続いています。4月中旬には兵庫を中心に徳島・和歌山・愛知・静岡などからの春漁の入荷が見込まれます。これからの水揚げの状況次第ですが、秋漁からまとまった入荷が無い状況が続く、在庫の消化も進んでいることから暫くは高値で推移すると予想されます。

[5月予想相場] しらす釜揚げ

産地	規格	予想相場(円/kg)
徳島・和歌山・兵庫	木箱(段ボール)	2,400~1,800

★桜エビ(釜揚げ)★

3月29日に解禁となりましたが悪天候の為4月3日に出漁となり、昨年の3倍以上の14トンの水揚げがありましたがその後は落ち着いています。今期も資源保護の観点から自主規制を行いながらの操業になりますが、世界情勢の不安定さから船の重油の確保も難しいとの予想もあり、出漁を減らすことも検討されています。相場については水揚げ状況にもよりますが、4ツ割セイロ(約220g)で1,800円/枚中心になると見込んでいます。6月5日まで操業は続きます。

★開物★

【真アジ】・・長崎をはじめ国内の水揚げ状況は若干ながら増えつつあるものの、鮮魚出荷が中心で加工原料の確保は難しい状況が続いており、韓国物を中心に加工・販売しておりますが、原料・製品ともに諸経費の高騰から相場は強含みで推移しております。

【カマス】・・九州・長崎をはじめその他地域での水揚げは安定せず、相場は強含みのまま推移しております。

【真ホッケ】・・寿都の定置網・小樽のトロールともに水揚げは極めて少量で、浜値の高騰が続いています。4月に入り、噴火湾にて小規模の定置網漁が始まりましたが、漁獲サイズは大きく鮮魚出荷メインの為、加工用の確保が難しい状況です。

[5月予想相場] 開物

品名	原料	サイズ(g/枚)	予想相場(円/枚)
真アジ開	国内産	200~80	350~100
カマス開	島根・長崎	250~80(品薄)	350~150
真ホッケ開	北海道	350~130(品薄)	320~200
サンマ開	国内産	110~100(品薄)	250~100

★塩サバ★

原料相場の高騰により青切り加工も減少しております。塩サバフィーレ(国産・ノルウェー産)においてもメーカーから4月に入って値上げのオファーがあり、今後も段階的に値上げが続くと予想されます。

[5月予想相場] 塩サバ

産地	サイズ(8kg/尾数)	予想相場(円/ケース)
ノルウェー (加工地:銚子)	14尾入/(品薄)	18,000中心
	16尾入/(品薄)	15,000中心
	18尾入/(品薄)	15,000中心
	20尾入/(品薄)	15,000中心

★干しガレイ類★

浜田地区では5月の大型連休明けから、香住地区では5月末からそれぞれお盆明けまで禁漁になります、加工向けの原料不足は解消されないまま休漁になるので、相場は高値安定のまま推移すると思われま

[5月予想相場] 干しガレイ

魚種	サイズ	予想相場(円/箱)
笹ガレイ子無し	2.0 kg 10~18 入(品薄)	6,500~5,000
水ガレイ	2.0 kg 10~18 入(品薄)	4,000~3,500
エテガレイ	2.0 kg 10~18 入	3,500~3,000

★味付いくら★

アメリカ・ロシアのチャム卵・マス卵のフリー在庫は殆ど無く、高値維持の為に荷動きの悪い状況が継続しております。加えてメーカーは、次期原料搬入まで生産を控えている状況の為、市場に流通される製品も少なく、インバウンド需要も継続中の為、北海産の新物塩いくら・味付いくら共に高値継続の状況は変わらないと予想されます。

[5月予想相場] 塩いくら・味付けいくら

種類		予想相場(円/kg)
国内産(秋卵)	塩いくら(新物)	35,000~30,000
	味付けいくら(新物)	28,000~18,000
ロシア産(マス卵)	味付けいくら(ヒネ物・品薄)	12,000~ 9,000

★みりん干し★

【いわしみりん】・原料となる片口いわしは、千葉県産をはじめ全国的に原料確保が難しい中、製品価格は高値安定が続いております。今後は重油価格高騰のあおりを受け資材・運賃などの諸経費高騰から値上げ必須の状況です。

【さばみりん】・欧州原料の搬入が無くなり、益々、国産の需要が増えることから国産相場も強含みで推移しております。国産原料はやや増加の見込みですが鮮魚需要が強く、加工原料手当ては難しい状況が続きます。

【ししゃもみりん】・ノルウェー・アイスランド共に4月に入り原料搬入が遅れていることから品薄状況になりつつあります。6月には新物原料からの製品が入荷されますが、500~400円/kgの値上げになるとの予想です。

[5月予想相場] みりん干し

魚種	産地	サイズ	予想相場(円/kg)
片口イワシ	千葉	2kg 80枚	3,200~2,800
サバ	国産(品薄)	各サイズ	1,900~1,500
アジ	タイ・ベトナム	各サイズ	2,200~1,900
ママカリ	タイ・ベトナム	各サイズ	2,100~1,800
シシャモ(品薄)	ノルウェー・アイスランド	各サイズ	3,400~3,200

★カツオのたたき★

南方漁場の漁獲状況は変わっていませんが、イラン情勢により輸出価格が急騰しています。また重油の手当てでも難しく、ブライン・PS・B1 すべてにおいて原料価格が高騰しています。6月以降には製品価格にも影響が出ると予想されます。

[5月予想相場] カツオたたき

	規格	予想相場(円/kg)
冷凍	B-1	2,000~1,800
	P-S	1,800~1,600

★辛子明太子・助子★

3月からシアトルで入札が始まり、4月から釜山にてロシア原料の入札が本格的に始まりました。前年並みの入札量になるとの予想ですが、重油の高騰を受け、運賃や加工経費などの高騰も続くとの予想から製品価格に

変動はなく強含みで推移すると予想されます。

[5月予想相場] 辛子明太子・助子

種類	予想相場(円/kg)
塩助子	3,000~2,000
辛子明太子 上品	3,000~2,000
辛子明太子 並品	2,000~1,500

★塩紅鮭・塩時鮭・銀鮭★

今年の「日本ロシアさけ・ます漁業交渉」は3月19日に終了し、4月1日より操業が開始されました。日本の漁獲枠は昨年と同じ2,050トンに決まり、時鮭の水揚げは不漁予想から浜値は強含みで推移すると予想されます。輸入紅鮭原料は、為替の影響とアメリカ・ロシア・ヨーロッパ共に国内での販売が好調なことにより、相場は高値で推移しております。加工原料についても確保は難しく、製品については各サイズの在庫はあるものの相場は強含みで推移しており、今後の北海道での時鮭・紅鮭の水揚げに期待がかかります。チリ産銀鮭については為替の影響で製品相場は高く、荷動きはよくない状況が続いており、一部のメーカーから安価な投げ物が出る可能性もあるのではないかと予想されます。

[5月予想相場] 塩紅鮭

産地	サイズ(17.5kg)	予想相場(円/kg)
ロシア	6尾入	3,200~2,900
	7尾入	3,000~2,700
	8尾入	2,800~2,500

★丸干し★

原料の主要産地である九州(鹿児島・宮崎・大分)や四国(愛媛・高知・)では長期に亘ってまとまった水揚げがない状況が続いており、製品の供給が滞る状況が続いています。また諸経費の高騰もあり製品価格も強含みで推移しております。四国(愛媛・高知・徳島)で水揚げ後乾燥加工された

※土干し(どぼし)の入荷も4月には終了し、成長したウルメ丸干しの入荷へと変わっていきます。九州(鹿児島・宮崎・大分)についても5月~6月には入荷が始まると期待されます。

※高知県などで見られる、平子いわし(いわしの稚魚)を直接床や土(砂)の上に並べて干す手法

[5月予想相場] 丸干し

種類・産地	規格	予想相場
ウルメ上乾	小(約9~10cm)	4,500~4,000円/kg
	中(約11~12cm)	4,000~3,700円/kg
ウルメ若干	15~10尾	220~150円/本

★ちりめん★

各産地とも水揚げは散発的で鹿児島や熊本から少量ですが、ややサイズの大きい脂分のあるクリーム色のウルメイワシ系ちりめんの入荷が有る程度です。4月後半になると徳島・兵庫(淡路)での漁が始まり、その後鹿児島・宮崎・愛知からも入荷が期待されます。水揚げ量にもよりますが、各産地とも在庫の少ない状況ですので、引き続き強含みで推移すると予想されます。

[5月予想相場] ちりめん

種類	産地	予想相場(円/kg)
上品	各地(品薄)	5,000中心
並品	各地	4,000中心

☆☆冷 凍☆☆

★冷凍エビ★

【養殖ブラックタイガー】

インド産に関しては、端境期に入っているため、オファーがほとんど出てきておりません。粗放養殖玉は早いところで数件がオファーを出しているようですが、小型中心で国内在庫が少ないことや、ベトナムなど他国の加工原料向けで成約が進んでいる様子で、現地サイドの提示価格はかなり強気です。

インドネシアでは、現地の天候不良や稚えびの池入れ量の減少により、新規オファーが出にくい状況になっております。現地価格は相変わらず高値なため、国内搬入量は少ないと思われれます。

国内市況に関しては現地価格が高いことや円安の影響で先物を買にくい状況となっております。国内現物も幾分かコストが高くなっているため、各社多少なりとも値上げを行う予想です。

【養殖バナメイエビ】

インド産に関しては、現時点で端境期のためオファーは少ない状況です。関税緩和によりUS向けの成約が若干増えてきているようで、現地価格はやや高値で推移しています。

エクアドル産は、現地ドル価が高値ですがオファーは出る状況です。むき原料などの需要で、一部中小型サイズで生産に遅れが出ているようです。国内市況に関して、各社逆ザヤ状態での販売が続いていますが、現地価格も徐々に上がっているため、値上げを唱えるところが増える見込みです。

【アルゼンチンアカエビ】

アルゼンチン赤エビは各社ある程度持ち合っている状況です。北部漁場は今シーズン操業を行うようですが、国内の消化状況が悪く、かつ現物との値差もそこまで無いため購入を見送るところが多いと思われれます。

国内市況に関しては、暫く実需ベースでの荷動きになっております。低調

な荷動きではありますが、全体量は多くはなく価格は横ばいで推移しております。L-3は今回の漁でほとんど獲れていないようなので、来年の9月頃まで品薄状態が続く見込みです。

【5月予想相場】 冷凍エビ ※1ポンド:約450g

種類	サイズ(1ポンドあたりの尾数)	予想相場(円/枚)
養殖BT (インド産他)	13/15	7,600~7,400
	16/20	6,600~6,400
	21/25(品薄)	6,200~6,000
	26/30(品薄)	5,800~5,600
	31/40(品薄)	5,200~5,000
養殖バナメイ (インド産他)	13/15	5,800~5,400
	16/20	5,100~4,800
	21/25	4,600~4,400
	26/30	4,200~4,000
	31/40	3,900~3,800
種類	サイズ(1kgあたりの尾数)	予想相場(円/kg)
アルゼンチン アカエビ	L1 (10/20)(品薄)	3,200 中心
	L2 (20/30)(品薄)	3,200 中心
	L3 (30/40)	在庫無し

★鮭 鱒★

【チリ産養殖銀鮭】

ドレス原料については、先月同様に昨シーズンを上回るペースでの対日向け輸出が確認された一方で、各インポーターが高価な原料を有していることもあり、相場は横這いから若干の弱含みでの推移となりました。トリム品市況に関しては、国内在庫薄状況と統計上での対日向けの数量減を受けて、引き続き強含み推移となりました。4~5月の製品についても各社値上をアナウンスしていますが、原料高製品安の構造は12月から変わっていません。5月の原料相場は横這い、トリム製品は横這いから強含みでの推移を予想します。

【養殖トラウト】

3～4月の原料市況については、大きな搬入もなく前月同様横這いでの相場展開になりました。トリム製品については国内在庫の不足感からトリムCの相場についてはやや強含み、トリムEは在庫の不足感は無いものの堅調な荷動きで相場は横這いとなりました。5月以降の相場についても搬入が限定的であることから、国内在庫が限定的なトリムCを中心に、原料・トリムともに横這いから強含みにて堅調に推移するものと予想されます。

【紅鮭】

国内在庫が少なくなってきました。これにより各社国内在庫の引き合いが強まり、国内相場は大幅な値上げが進むと予想されます。5月もこの流れが継続するものと予想されるため注意が必要です。製品については、原料に引っ張られる形で相場は上昇すると思われれます。

【5月予想相場】 鮭鱒 ※1ポンド:約450g

魚種	サイズ(ドレス1尾あたり)	予想相場(円/kg)
紅鮭 (ロシア産・アメリカ産)	一級(2ポンド～4ポンド/尾)	1,600～1,500
	一級(4ポンド～6ポンド/尾)	1,800～1,700
	一級(6ポンド～9ポンド/尾)	在庫無し
トラウト(ノルウェー産)	2ポンド～4ポンド/尾	在庫無し
	4ポンド～6ポンド/尾	1,550～1,500
	6ポンド～9ポンド/尾	1,650～1,550
銀鮭(チリ産)	2ポンド～4ポンド/尾	1,200～1,300
	4ポンド～6ポンド/尾(品薄)	1,300～1,400
	6ポンド～9ポンド/尾	1,150～1,250

★ヤリイカ★

国産ヤリイカ・ケンイカの冷凍製品は品薄状態が続いておりますが、大型サイズについては、モロッコ産ヨーロッパヤリイカ原料のIQF建て替え製品が出来ております。

【5月予想相場】ヤリイカ/ケンサキイカ/ヨーロッパヤリイカ

種類	原産地	荷姿	サイズ	相場(円/kg)
ヤリイカ ケンサキイカ ヨーロッパヤリイカ	長崎県 山口県	5kg×2	16/20尾/5kg(品薄)	無し
			21/25尾/5kg(品薄)	無し
			26/30尾/5kg(品薄)	3,500 中心
	モロッコ	10kIQF 建替	GG(1kup/尾)	3,800 中心
			G(0.7～1.0kg/尾)	3,500 中心

★紋甲イカ★

スキンレス紋甲製品はスリランカ・パキスタン産・オマーン産で品揃えしており、品質については良品の商材です。東南アジアの紋甲イカ製品は搬入が少なくなってきました。

【5月予想相場】 紋甲イカ (スリランカ、パキスタン、オマーン等)

種類	荷姿	サイズ(g/枚)	相場(円/kg)
スキンレス 紋甲イカ	10kg/ケース	1kg UP	4,500 中心
	5kg/ケース ×2	700～1,000g	4,500 中心
		500～700g(品薄)	4,300 中心
		400～500g	4,300 中心
		300～400g	4,200 中心

★スルメイカ★

国産船凍スルメイカについては、小型サイズが中心です。陸凍物については、トロール物の国内IQF立替商品で、大型サイズが有るものの、数量は限定的で相場は高値維持の状況です。ツボ抜きイカについては、スルメイカ・マツイカ両方とも相場はやや強含みの予想です。また50尾・60尾サイズは品薄となっております。

【5月予想相場】スルメイカ・マツイカ

種類	原産地	サイズ(8kg/箱)	相場(円/ケース)
船凍スルメ	石川県・青森県 他	36/40尾/8kg	14,500円前後
		41/45尾/8kg	10,000円前後

種類	原産地	サイズ(10kg/箱)	相場(円/ケース)
陸凍スルメ	三陸、富山県 長崎県	26/30 尾/8kg(品薄)	20,000 中心
		31/40 尾/8kg(品薄)	20,000 中心
種類	原産地	サイズ(尾/7.5 kg)	相場(円/ケース)
ツボ抜き スルメ	中国	40 尾/7.5 kg	11,000 中心
		50 尾/7.5 kg	品薄
ツボ抜き マツイカ	中国	40 尾/7.5 kg	9,500 中心

★ロールイカ★

国産ムラサキイカのロール製品の相場に変更ありません。中国産アメリカオアカイカのロールイカの相場は、若干弱含みの予想です。

[5月予想相場] ロールイカ

種類	原料産地地	荷姿	サイズ(/5kg)	相場(円/kg)
ムラサキイカ	北海道・青森沖太平洋	5kg×2	8 尾	1,350 中心
	中国	5kg×2	10 尾	1,300 中心
アメリカオオ アカイカ	中国	5kg×2	36 尾	850 中心
			40 尾	850 中心
			50 尾	850 中心

★原料タコ★

アフリカ冬蛸の搬入が始まっています。小型サイズの搬入数量は多くはなく限定されています。高値圏の環境が続いていますので、需要期の消費量も低調です。北海道産やなぎたこ・みずたこも少なく、国産原料の製品も厳しい状況です。量販店ではアフリカ物以外も多く販促されています。半夏生に向けての販促については厳しい環境です。

★赤 魚★

太平洋原料のドル価は高いままで終了し、国内の製品・原料相場も急激に上がりつつあり、国内の原料搬入量も相当数少ない状況です。大西洋新

物原料については欧州、中国などの引き合いも強く高値横ばいのままですが太平洋が高値の為、価格差が少なくなっている事から引き合いが強い状況です。大西洋に関しては新物始まりでしたが単価上がっており、これに影響されて太平洋ももう一段階上がる見込みです。

[5月予想相場] 赤魚(大西洋)

規格(1尾あたり)	荷姿	予想相場(円/kg)
700gUP(品薄)	7kgx3	950 中心
500g~700g(品薄)	7kgx3	800 中心

★カラスガレイ★

原料の水揚げ状況悪く、中国の買付は非常に強い状態が続いており、高いドル価で国内品薄感が続いています。製品相場も急激に上がって来ております。国内加工メーカーも手持ち原料少なく IQF ドレス・フィレともに軒並み急激に値上げしております。ただ国内 IQF 品の売りに関しては特売数量の減少などから落ち込んで来ていると思われます。

[5月予想相場] カラスガレイ

サイズ(kg/1尾あたり)	予想相場(円/kg)
0.5/1.0 (品薄)	1,750~1,7000
1.0/2.0 (欠品)	1,850~1,800

★その他凍魚★

今期の漁獲は終了しました。大型サイズは比較的多く獲れましたが小型のサゴシは少なく高値となっております。価格は \$ 価で昨年と比べ少し安価となりましたが、円安の影響で横ばい推移の予想です。大西洋さばの高値の影響で、量販店向け・業務向け共に引き合いがかなり増えています。大西洋サバについては来期の枠が 48%減で発表され、サバ原料は 1,000 円/kg に成ると予想され、製品価格はさらに値上げが加速すると予想されます。フリー在庫も少なくなってきたり、国産マサバ・中国マサバに関しても大西洋サバの影響により、昨年よりも浜値はさらに強含み感が増していま

すが、各社ともに原料確保の為、買付意欲は強い状況です。

【5月予想相場】 南方凍魚

魚種	予想相場(円/kg)
サワラフィーレ	1,450~1,300
サゴシフィーレ	1,150~1,050
シルバードレス	700 中心
サバラウンド 400/600g	900~ 850
サバラウンド 600gUP	1,000~ 950

★タラバガニ★

【アラスカ産】

今期の漁獲枠が少量の増枠発表を受けましたが、価格への影響は少なく昨年同様に高値横ばいの予想で、米国内での消化が主体となり、日本への搬入量はごく少量となる予想となっております。

【ロシア産】

極東産は中国の活需要が依然として強く、年々活ガニでの輸出量が増加しています。活需要の影響により冷凍品の生産量はごく少量となる予想となっております。バレンツ産は、中国への活輸出を一部行っておりますが、ズワイと同様に輸出経路が確立されていません。日本への搬入量は昨年同様で相場は強含みの予想です。

【5月予想相場】 タラバガニ:2025 年産予想相場(円/kg)

サイズ(3 kg製品)	生タラバガニ(米国)	生タラバガニ(ロシア)
6L	16,000 中心	8,000 中心
5L	16,000 中心	8,000 中心
4L	16,000 中心	7,500 中心

★ズワイガニ★

【アラスカ産】

オピリオ種は米国内販が主体の為、大型から小型まで9.5ドル/lb.前後と高値維持の状況です。バルダイ種は今期コディアックでの禁漁、サウスイー株式会社うおいち 商品情報&STRATEGY 2026年 5月号

スタンの減枠に加え米国内販が主体の為、ボイル生産に集中しており生冷品の生産量は少量と予想されます。円貨にしてセクションベース6,000円/kg以上と高値で推移のため、日本国内の搬入量は少ないと予想されます。

【ロシア産】

バレンツ海の大手法ニ生産者、セゼルカ社はロシア漁業庁より漁獲枠の増枠を受けて前年比40%増の約5,000トンになりました。極東側が韓国への活ガニ輸出量が好調に対し、バレンツ側は輸出経路が確立しておらず輸出が不調の為、枠の半分は冷凍品として日本に搬入される見込みです。極東産は、昨年生産の生冷品の荷動きが悪い為、新物の生産量は生冷品減少・冷凍ボイル品増加が予想されます。

【カナダ産】

ガルフの漁獲枠が正式に発表され、昨年比12%減の約16,000トンと減少しており、依然として高値維持の予想です。米国への販売が主体となり日本への搬入は昨年同様に少量となる見込みです。NFL はパッカーとの価格の折り合いが未だついていません。3 月末ごろ、具体的な価格が見えてくると思われま。

【5月予想相場】ズワイガニ:2025 年産物相場(円/kg)

サイズ	生ズワイ(ロシア)	ボイルズワイ(カナダ)
5L	4,700~4,500	在庫無し
4L	4,400~4,200	在庫無し
3L	4,400~4,200	5,200~5,000
2L	4,500~4,000	5,000~4,500

★ボイルホタテ★

現在市中では昨年製造されたものが1,000円台後半で推移しています。今期の噴火湾の水揚げ数量は昨年度と比較し6割減と大幅な新物製品の生産減少が予想されていることに加え、貝柱に比べ値ごろ感があることから引き合いが増えてきています。

[5月予想相場] ボイルホタテ

サイズ(粒数/kg)		国内産相場(円/kg)
2L(品薄)	16/20	2,200 中心
L	21/25	2,000 中心
M	26/30	2,000 中心
S	31/35	1,900 中心
2S	36/40	1,800 中心
3S(品薄)	41/50	1,700 中心

★ホタテ貝柱★

今期のオホーツク水揚げ数量は不漁だった昨年度をさらに下回る 21 万トンと予想されています。3 月に入り一部の海域では漁場造成がスタートしましたが、歩留まりは枝幸 6%、沙留 5%とこちらも昨年度以上の小型化が懸念されています。米国及び東南アジアを中心とした海外輸出の中心サイズは 3S アップでしたが、米国を筆頭に 4S 以下の使用及び検討が始まっています。サイズによっては品薄となりますが、各サイズ共に確認条件にてお願い致します。

[5月予想相場]

サイズ		予想相場(円/kg)
L	21/25(品薄)	10,000 中心
M	26/30(品薄)	9,000 中心
S	31/35(品薄)	8,000 中心
2S	36/40(品薄)	7,500 中心
3S	41/50	7,000 中心
4S	51/60	6,500 中心
5S	60/80	5,600 中心

★鰻蒲焼★

【中国産】

シラス価格は過去最低値に迫る 1.7 元/尾まで下落し、池入れ数量は中国 32 トン東アジア全体で 50 トンの見込みです。旧正月後から本格的に加工場が稼働し始めましたが、ジャポニカ原料の成長不良により太物の搬入は 4 月下旬以降と遅れています。また餌代の高騰もあり、細物を中心に池上げを進める養鰻場が多いと予想されます。一方ロストラータ種は依然としてアメリカ、ロシア向けで太物の引き合いがあるため、大きな価格変化はないと予想されます。

[5月予想相場] 中国産鰻蒲焼(ジャポニカ種・ロストラータ種)

規格(尾数/10kg)	予想相場(円/kg)
25 尾	2,200 中心
30 尾	2,300 中心
35 尾	2,450 中心
40 尾	2,650 中心
45 尾	2,800 中心
50 尾	3,000 中心

【国産】

現在の日本国内のシラス池入れ量は 10.5 トンと低調で、最終的には 14 トンに届かない予想です。うち半分が輸入シラスとした場合、平均池入れ価格は 100 万円を切ると予想されます。また活鰻相場は 2 月に三河・九州で下方修正があり、両地区の各サイズの値差は 200 円程に縮まりました。

[5月予想相場] 国産活鰻相場

産地	サイズ(尾/kg)	予想相場(円/kg)
愛知	3P	3,300 中心
	4P	3,400 中心
	5P	3,600 中心
鹿児島	3P	3,500 中心
	4P	3,800 中心
	5P	3,800 中心